

令和3年度の早池峰山保全活動

令和4年2月4日 早池峰地域保全対策事業推進協議会シカ部会資料



国民の森林・国有林

林野庁東北森林管理局
岩手南部森林管理署遠野支署

報告内容

- 1 巡視活動等（巡視、移入植物駆除、植生保護柵の設置等）
- 2 森林保護員（グリーンサポートスタッフ・GSS）の活動
- 3 令和3年度のニホンジカ対策の中間成果

※本報告は、令和3年度に岩手南部森林管理署遠野支署が実施した早池峰山保全対策について、三陸北部森林管理署の関連する取組も含めて取りまとめたものである。



消雪直後の植生保護柵のネット設置作業(5/20)



降雪前の植生保護柵のネット格納作業(10/29)

1 巡視活動等

(1) 巡視活動

(単位：人)

区分	登山道合同 パトロール (6/4) 保全対策	河原の坊登山道 現地調査 (6/8)	早池峰山地域 合同パトロール (7/15) 保全対策	局幹部との 合同パトロール (8/27)
三陸北部署	荒天により 中止	—	2	局 4
遠野支署		2	4	2
国有林 計		2	6	6

(2) 移入植物駆除活動

(単位：人)

区分	第1回 セイヨウタンポポ、オオバコ (6/16) 保全対策	第2回 オオハンゴウソウ (8/20) 保全対策
三陸北部署	6	荒天により 中止
遠野支署	3	
国有林 計	9	

(3) 植生保護柵の設置・撤去

(単位：人)

区分	植生保護柵の 設置 (5/20)	県防鹿柵の設置 (6/11)	県防鹿柵の撤去 (10/22)	植生保護柵の 撤去 (10/29)
三陸北部署	22	—	—	7
遠野支署	10	1	2	9
国有林 計	32	1	2	16

2 森林保護員(グリーンサポートスタッフ:GSS)の活動

遠野支署では6月7日～9月30日まで4名を配置。土日祝日を中心に延べ64人/19日活動

(1) 巡視・啓発活動



山頂でのゴミ拾い



登山者との交流



山カードがきっかけに

(2) 登山道・標識等の補修



保護林標識の補修



カーブミラーの点検



植生保護柵の点検

3 R3早池峰山周辺地域におけるシカ対策の中間成果

(1) 植生保護柵の設置による高山植物保護(遠野支署、三陸北部署、岩手県)

設置主体	延長
岩手南部森林管理署遠野支署	250m (200m)
三陸北部森林管理署	540m (540m)
岩手県環境生活部	750m (750m)
計	1,540m (1,490m)

()内はR2年度までの設置分

成果1 総延長 1,490m→1,540m

新規で50m拡張

成果2 早期の設置

融雪直後に設置

成果3 応援体制の確立

県の設置作業への応援

(2) 遠野支署によるシカの捕獲事業(恩徳地区及び早池峰山河原の坊地区で実施)等

設置時期・地区	くくりワナ (いのしか御用)	捕獲数
R3.3~6月(土淵地区)	29基	9頭
R3.3~6月(附馬牛地区)	29基	4頭
R3.8~10月(河原の坊地区)	20基	8頭

捕獲頭数(くくりワナ)増 (遠野支署)18頭 → 21頭

ツキノワグマの錯誤捕獲なし

局直轄捕獲事業により、冬期間に早池峰山周辺実施予定

(3) 捕獲支援 地方自治体等へのワナ(いのしか御用)の貸与(遠野支署・三陸北部署)

4~12月の捕獲頭数 35頭

(遠野市15頭、花巻市18頭、※宮古市2頭)

貸与したワナの数137基(遠野市87基、花巻市22基、宮古市25基)

ツキノワグマの錯誤捕獲なし

バネなくくりワナ「いのしか御用」の有効性を実証した。

(4) 捕獲支援 林道除雪による捕獲支援

令和3年度 遠野市内8路線実施中(遠野支署) 宮古市内2路線実施予定(三陸北部署)

捕獲頭数をメッシュ区画毎に整理したところ、全区画の平均捕獲頭数34頭に対し、林道除雪区間の平均捕獲頭数は70頭。

(参考) 遠野市内におけるシカの捕獲頭数の推移

○ 遠野市内のシカ捕獲頭数の推移 (単位:頭)

	H27	H28	H29	H30	R1	R2
有害捕獲	705	951	1,264	1,425	1,858	2,371
指定管理	878	879	1,425	930	1,002	1,679
狩猟	203	210	212	137	205	232
合計	1,786	2,040	2,901	2,492	3,065	4,282

- ・H26年の環境省による県内のシカの個体数推計は**約4万頭**
- ・H29度の自然増加率推計の中央値は**1.16**(環境省R元.11)
- ・県では**年間1万頭以上の捕獲**が目標(岩手県シカ管理計画)
- ・この数字には、当支署が直接捕獲した頭数は含まれない。

○ 岩手県全域のシカ捕獲頭数の推移 (単位:頭)

捕獲区分	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
有害捕獲	3,517	5,921	4,806	5,718	7,061	7,399	8,869	11,526
指定管理	4,556	4,182	4,110	4,632	6,179	4,595	4,794	8,302
狩猟	1,546	816	629	649	1,078	544	757	903
計	9,619	10,919	9,545	10,999	14,318	12,538	14,420	20,731

※ 有害捕獲とは市町村による有害捕獲(4~10月)、指定管理とは県指定管理鳥獣捕獲等事業(11~2月)、狩猟とは一般狩猟(11~3月)

※ 平成26年度までは捕獲委託(県単独事業)、平成27年度以降は指定管理鳥獣捕獲等事業(環境省交付金)による捕獲(以下同様)

ニホンジカ対策について

【昨年度の検討事項】

- 夏に早池峰山で活動する個体を確実に捕獲するために、春から秋の間での捕獲専門事業者による捕獲事業を検討できないか。冬に、周辺地域の越冬場に拡散した後では、早池峰山で活動する個体に絞って捕獲することはできず、一網打尽も現実的ではない。
- 現在、閉鎖している河原の坊コース内で、いのしか御用を使用するのであれば、一般登山客との接触とツキノワグマの錯誤捕獲を避けた安全な捕獲が可能ではないか。

【河原の坊地区でのニホンジカ被害防除事業を実施】

- 昨年度の検討事項を踏まえ、河原の坊地区において8月～10月の期間ニホンジカ被害防除事業を実施
- 事業期間途中からヘイキューブ（誘引餌）への移入種子混入の恐れがあると判明し使用を見送った。
- 一部、ツキノワグマによるものと思われるワナの掘り返し行為が見られたが、錯誤捕獲は無し。
- ・事業の実施結果
 - ヘイキューブ（誘引餌）を使用しての捕獲結果 捕獲頭数5頭 捕獲効率 0.0112
 - ヘイキューブ（誘引餌）未使用での捕獲結果 捕獲頭数3頭 捕獲効率 0.0074

参考データ：令和3年同種事業実績（実施期間4月18日～5月22日）

土淵地区 捕獲頭数9頭 捕獲効率 0.0089 附馬牛地区 捕獲頭数4頭 捕獲効率 0.0039

【今後の検討事項】

- 河原の坊地区でのニホンジカ被害防除事業は、ヘイキューブ（誘引餌）を使用した場合、他地区で実施された同種事業より捕獲効率が高いことから、移入種子混入の恐れのない誘引餌を使用した捕獲方法を用いて、通年での捕獲事業を実施することが効果的と考えられる。
- 今後、同箇所での通年のニホンジカ被害防除事業を検討。